

第11回 無形文化遺産理解セミナー

おとな
こどもも大人も一緒に
いっしょ

ぶん らく
文楽

ぶんがく ぶんがく ぶんがく
(文楽の技芸員によるお話とワークショップ)

講 師



吉田 篁紫郎



吉田 玉誉



吉田 篁之



おおさか う でんとうげいのう ふんらく せかい はたら ひと はなし き
大阪で生まれた伝統芸能「文楽」の世界で働く人のお話を聞いたり、
ぶんらくにんぎょう あやつ かた たいけん
文楽人形の操り方を体験してみよう。

日 時 平成27年8月29日(土)
14:00~15:30

会 場 堺市博物館 ホール

参加費 無料 ★申込方法は裏面へ

※展示場内を観覧する場合は観覧料が必要となります。

人形浄瑠璃 **文楽**について

人形浄瑠璃文楽は、日本を代表する伝統芸能の一つで、大夫・三味線・人形が一体となった総合芸術です。平成20年にユネスコの無形文化遺産の代表一覧表に記載されました。

主催：堺 市

協力：独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場

プログラム

◎文楽ってなあに？

【解説】文楽の概要について

・文楽の映像鑑賞

「牛若丸と弁慶／五条橋」

◎文楽人形を動かしてみよう！

【解説】文楽人形の仕掛けについて

・文楽人形の操り方体験

◎文楽の人形遣いさんに 聞いてみよう！

・文楽の仕事や修業について

《パネル展示》

会場では、文楽人形がもっと詳しくわかる
写真パネルを展示します。

ひとくちメモ

文楽の人形

文楽では1体の人形を3人で動かします。

3人の呼吸を合わせ、人形の動きを通して、
喜び、悲しみ、怒りといった気持ちを表現し
ます。

牛若丸と弁慶／五条橋

「京の五条の橋の上」で始まる唱歌でおな

じみの牛若丸と弁慶が出会った有名なお話
です。

牛若丸が橋の上をヒラリ

ヒラリと舞う場面は、人形な

らではの動きが楽しめます。

今回は、このお話の一部

を紹介しします。



弁慶

■お申し込み方法

- ◎FAX、電子メール又は電話でお申し込みください。
- ◎FAX、電子メールの場合は、参加希望者全員（1通につき4名まで）の住所・氏名（ふりがな）、電話・FAX番号と小・中学生は学年を明記の上、

堺市博物館 無形セミナー係へ。

- ※大人の方のみのご参加も可能です。
- ※小学生は必ず保護者同伴でお越しください。

■締切 平成27年8月21日（金）必着

■定員 100名

- ◎応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。
- ◎ご応募いただきました全員の皆さまに参加の可否をご連絡いたします。

■交通案内

- ◎JR阪和線・関西空港線「百舌鳥」駅下車 徒歩約6分
- ◎南海バス「堺市博物館前」下車 徒歩約4分
- ※車の方は、大仙公園仁徳御陵駐車場（有料）をご利用ください。



堺市博物館公式キャラクター
サカイトケルくん
©YABUCHI Sasaki



堺市博物館

SAKAI CITY MUSEUM

〒590-0802 大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 大仙公園内
TEL.072 (245) 6201 FAX.072 (245) 6263
E-mail hakugaku@city.sakai.lg.jp
URL <http://www.city.sakai.lg.jp/kanko/hakubutsukan>

ハロー・ミュージアム：TEL.072 (244) 9898 (博物館の展覧会などを24時間ご案内)